自己評価シート

職員による自己評価

A環境面

環境面ではよい評価になっているが、人員や、配置状況といった人的環境については大体といった評価が一番多く、まだ、改善の必要を感じる。

B利用者への支援内容

どの項目も概ね良い評価ではあるが、教材の整備においては、どちらともいえないが30パーセントであるので、改善の必要がある。

C関係機関との連携

学校、各関係機関とも、どちらともいえないが、50%と高く、連携に関しては課題がある。

D保護者への説明責任・信頼関係

スタッフ自身からは、保護者とは良い関係を築けているといった自己評価となっている。

E非常時対応

特に虐待に関しては、スタッフ全員が自覚をもって取り組んでいる。避難場所の周知、また、通所時の危険個所については、確認不足が認められる。」

保護者による評価

A環境面

概ね、よいという評価をいただいている。

B利用者への支援内容

報告や、面談については、満足されているようである。

C事業所からの情報発信

配布物については、回数についてどちらともいえないとの数が少し多めである。また、ホームページ、ブログなどは利用が少ない。

D非常時対応

緊急対応については、概ねよいといった評価が得られた。ただ、保険加入や虐待防止対策の認知が比較的少なかった。

事業所内での分析

【共通点】

- ・環境面や、支援内容に関しては、双方ともよい評価になっており、共通の認識でとらえられている。その点から考えても、保護者との認識の違いは少なく、一定の信頼関係は築けているように思われる。
- ・各所との連携に関しては、ともに満足度は高くない。

【相違点】

- ・大きな相違点は見当たらないが、保護者のイベント、学習会への満足度が高くないところが気になった。

分析・検証してみた

事業所の強み

- ・保護者とは一定の信頼関係があり、支援内容なども満足頂いている。
- ・スタッフ自身の労働環境への評価も高く、働きやすいと自らが認識しているようなので、向上的な支援が展開して行ける。
- ・保護者からの、ケガ、病気、アレルギーとって個々への対応についての評価も高く、しっかりと個別の対応ができていると思う。

事業所の改善点

- ・保護者、職員ともに、外部連携については良い評価が少なく、課題といえる。
- ・ホームページやブログなど、ウェブ媒体の広報への認知が弱いといえる。
- ・保護者から良い評価の少なかった、イベント、学習会についてはアイデアが必要に感じる。
- ・保護者からの自由表記欄のスタッフの移動に関しては、考慮が必要と感じる。

事業所の改善への取り組み

- ・連携に関しては、レクタス内の相談支援事業と連携をとりつつ、必要があれば積極的に外部とのかかわりを持っていく。
- ・広報活動に関しては、積極的にウェブ媒体を用いるとともに、その周知をしていく。また、その中で、内容も検討し、特にイベントや学習会の計画を立てていく。
- ・スタッフの移動に関しては、保護者に十分に理解の得られえるように説明をし、まずは、慎重に実施する。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今回もアンケートを通して、全体を振り返ることができよかったと思う。アンケートの結果を生かして、活動に取り入れていきたい。

特に、保護者、スタッフとも共通の他機関とも連携に関しては、相談支援事業所と共有しながら多角的な支援を進めていきたい。

事業所名 レクタス放課後等デイサービス三ツ境教室

担当者 小林 由貴子